

おかげさまで100号です!



荒田珈琲
新聞
Vol. 100

2025.11.23(日)



○祝○ 荒田珈琲新聞 100号!

開業時に創刊した新聞が
いつの間にかここまで来ました。始めは
隔週発行で、ペースを守っていればとくに



デジタル時代に手書きしているのは
新聞はヨメにとってお客さまへのお手紙で、
荒田珈琲の雰囲気みたいなものが
伝わるというな...と願っているからです♡

通り過ぎたはずの「100」まで時間がかかりましたね。お手に取ってくださる皆さまに比より感謝です!
バックナンバーを開けば店の様子も感じます。いつの日か冊子にある野望を抱きつつ、これからも
お役立ち情報少なめの四方山話をお届けしてまいりますので、どうぞよろしくお厚いいたします。

モノ図鑑

井...
11 砂時計



20代半ばで初めて訪れたフランスは、旅費のほとんどを食に投じた花より団子の
旅でした。唯一残っている土産品がパリのFAUCHON本店で買った砂時計
です。自宅の食器棚に長年飾ってあったオブリジェが今では店の必需品になりました。
紅茶のご注文をいただいたら、逆さにしてサラサラと砂を落ととしています。コンパクト
ながらずりりと重く、スリムなのに安定感があって倒れません。錆びた黒ずみも悪く
ないと、そのまま愛用しています。たまには磨きあげてピカピカの銀色を拝んでみるのも
良いかも...年末大掃除で余力があったらネ。

「パン職人(ブーランジェ)」は町一番の早起きで尊敬される仕事だよ。フランスじゃ、
男子はまだ眠っている 恋人のために火烤きたてのパンを買いに走るんだ。普段は
バゲットかクロワッサンで、特別な日はパン・オ・ショコラさ。」そんな話を聞いて
ロマンチックだなあとときめいたものです。朝食にはぎゅと熱々の珈琲を淹れて...
あっと、今回は紅茶のモノ図鑑でしたね。脱線してしまいました。またの訪仏を夢見て、Bon Appétit!



園芸部



覚えているでしょうか? 店内で育てているコーヒーの木から収穫された実のことを。
取り出した種(生豆)を試みに植えてから早数ヶ月、もうダメかと半分諦め
ていましたが2つの豆が土から顔を出しました。なんと、ちゃんと生きていました!
もやめみたいヒョロヒョロで、頭に豆をかぶったまま立ち上がっています。

その見かけから栽培地では「fósforo(マッチ棒)」と呼ばれているそうです。
小さな金鉢に2つの豆が向き合う姿がかわいくて目が離せません。最近では
さらにもう1つ生えてくる気配がありどうなることやら。苗の生長はともゆくり
です。冬を越えて葉が広がる頃、個別の金鉢に植え替えるつもりでお世話中です。



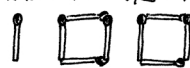
12月前半の〈お休み〉 ☪ ... ☪

1(月)・2(火)・8(月)・9(火)・15(月)

後半と年末年始の予定は
決まり次第お知らせします



突然ですが問題です!



マッチ棒を2本動かして
倍にできるでしょうか?



クリスマスの装飾が街を彩り始めました。荒田珈琲でも例年クリスマス
まで4週間となるアドベントの時期にツリーを飾ります。日が没むと店内
のムードはほろ増し♡ ゆったり流れるホリデージャズに耳を傾け、1年で
1番きらめく珈琲時間をお楽しみください! ヒートアップ:日本限定パズルです